

日本小児科医会ニュース

JAPAN PEDIATRIC ASSOCIATION (J.P.A) NEWS

No.79・2025

発行 / (公社)日本小児科医会
発行人 / 伊藤 隆一

東京都港区浜松町 2-8-14

浜松町 TS ビル 8 階 〒105-0013

TEL 03-6435-9919

FAX 03-6435-9331

会長挨拶

Community Pediatrics と Well-Being 2025

会長 伊藤 隆一



令和 7 年（2025 年）を迎えました。会員の多くは 20 世紀の半分以上の昭和生まれだと思いますが、振り返ると昭和元年は 1926 年 12 月 25 日から 7 日間のみで、最後の昭和 64 年（1989 年）はやはり 7 日間しかない 1 月 7 日まででした。今年正月七草までの 7 間間はちょうど昭和 100 年（2025 年）になります。昨年

年医会は創立 40 周年を迎えることができました。

私事ですが、昨年元旦は京都のホテルの高層階で初日の出を仰ぎ 1 年の骨休めをしていた 16 時 10 分に能登半島地震（M7.6 最大震度 7、京都府内で 4）に出会いました。眼下に見える新幹線は京都駅手前直前で停止。八条口側のホテルのスケルトンエレベーターが途中で作動停止しているのが見えました。翌 2 日 17 時 47 分ごろには着陸 JAL 機と離陸準備の能登地震支援に向かう海保機との羽田空港地上衝突事故が発生しました。1 年がどうなるかと思ひめぐらせる正月早々衝撃の 1 年の始まりでした。

地震被災した能登半島はその後 9 月 21 日から台風 14 号から変化した温帯低気圧と秋雨前線による集中豪雨にもあい追ひ打ちを受けられました。被災された方々には深くお見舞い申し上げます。

医会では学校健診とも重なる思春期を含めた成育期全般で諸外国並みに健診回数の拡大を目標として、まず 1 か月・5 歳児（就学前健診より早く）健診の予算を確保していただきましたが、現場での対応の課題が多く小児科学会と協力して昨年末より都道府県単位で大学病院小児科責任者、こども病院院長、都道府県小児科医会会長を主メンバーとするコンソーシアム組織作りをお願いしました。今後日医や自治体に課題克服と健診推進の協力を行います。

Bio-Psycho-Social なアプローチでは Well-Being をめざすと頻回に出てきます。Well-Being には統計的データ（GDP など）で測れる客観的なものと個人の感覚や認識で感じる主観的なものがあるようで幸福度と関係します。UNICEF のレポート 16 の幸福度 38 か国調査にて、日本の子どもの身体的健康 1 位、スキル（数学・読解力・社会的）27 位でしたが精神的幸福度は低く 37 位で総合 20 位と報告されています。2023 年文科省などの発表で、小

中高の自殺者数 513 人、いじめ 73 万件、暴力行為 108,987 件そして小中の不登校者数は 34 万 6,482 人となっています。日本の教育や社会の制度が関係して子どもたちの精神的な評価が低いのでしょうか。貧困など経済も影響しますが、貧しくても、格差があっても Well-Being な気持ちを維持している人もいます。心理学者のマーティン・セグリマンは PERMA モデル（P：Positive Emotion, E：Engagement 何かへ没頭, R：Relationship 人とのつながりを持つ, M：Meaning 生きる意味の自覚, A：Accomplishment 達成感を持つ）を提唱しています。GDP も GDW（Gross Domestic Well-Being：質的向上、主観的に実感できる豊かさ）の指標の必要が唱えられ、国際社会の共通目標は現在 SDGs（2015～2030 年）ですが、2030 年以降に向けて SWGs（Sustainable Well-Being Goals）として主観的な Well-Being を新たに目標とする動きが始まっているようです。我々 Community Pediatrics も人とのつながりを大切に Positive Emotion を持って Well-Being Goal へ達成感を実感して子どもたちに接していかなければなりません。

隔年報告される医師統計概況（2024 年 3 月 19 日付）、2022 年（12 月 31 日現在）では医師総数 343,275 人（男女比 3:2）、人口 10 万対 275 人。診療所医師数 107,348 人。平均年齢 60.4 歳。主たる小児科医療施設従事医師数 17,781 人。平均年齢 51 歳。そのうち病院 11,030 人・診療所 6,751 人（各男女比 1.6:1.9、各平均年齢 44.7:61.3 歳）小児科医師数は 2020 年まで増加していましたが 2022 年統計では減少に転じています。

3 年ごとに報告される医療施設調査（2024 年 11 月 22 日付）、2023 年（10 月 1 日現在）では医療施設総数 179,834（病院 8,122、一般診療所 104,894、歯科 66,818）

2023 年の小児科標榜病院 2,456、一般診療所 17,778（2008 年より各 15%減、21%減）

前回報告 2020 年より皮膚科、美容外科、内科は増加しましたが小児科は 1,020 施設、5.4% 減少となっています。

2023 年 12 月 3 日時点で日本小児科医会会員数は 5,020 名（A 会員 2,856 B 会員 2,164 名）で残念ながら減少しています。韓国の小児科医は激減し小児医療の崩壊が起きているようですが少子化とともに歯止めをかけなければなりません。

内外の政治情勢も混沌としています。自然災害も危惧されます。Happiness は一時的な幸せですが Well Being は持続的な幸せです。子どもに関する暗いニュースが出てこないよう、子どもたち共々我々も平穏な日々が送れる 1 年になることを祈願します。